

●実務経験のある教員等による授業科目

総合エンタテインメント科

音楽アーティストコース

	科目	1年	2年	3年	必修の別	授業形式	実務経験の有無の別	実務経験授業の時間数
全科共通科目	SHOW!音楽エンタテインメントゼミ	51	51	51	必修	講義	○	153
	デビュー・就職実務Ⅰ	80			必修	講義		-
	デビュー・就職実務Ⅱ		53		必修	講義		-
	著作権		19		必修	講義		-
	PC実習	54			必修	講義		-
	選択授業	36	36	36	必修	講義		-
	異文化研究	20	20		必修	講義		-
	イベント制作実習A	141	126	126	必修	実習	○	393
	イベント制作実習B	283	288	288	必修	実習	○	859
専門科目	ヴォイストレーニングⅠ	36			必修	実習	○	36
	ヴォイストレーニングⅡ		36		必修	実習	○	36
	作詞実習	18			必修	実習	○	18
	音楽理論	18			必修	講義		-
	コーラスワーク	34	34		必修	実習	○	68
	ヴォーカルレコーディング		36		必修	実習	○	36
	作曲REC実習		34		必修	実習		-
	ヴォーカル実技Ⅰ	17			必修	実習	○	17
	ヴォーカル実技Ⅱ		34		必修	実習	○	34
	ソルフェージュ	17			必修	実習	○	17
	ライブパフォーマンス実習	34			必修	実習	○	34
	作曲実習	34			必修	実習	○	34
	ギター実習/ピアノ実習		34		必修	実習	○	34
	DTM	34			必修	実習		-
	ヴォーカルパフォーマンス実習		34		必修	実習	○	34
	選択必修※「選択必修科目一覧表」参照			328	選択必修	科目による	科目による	-
								-
								-
合計	総授業時間数	907						
合計	総授業時間数		835					
合計	総授業時間数			829			合計	
	卒業時最少時間		2571				1803	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	SHOW!音楽エンタテインメントゼミ		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
対象学年	1・2	年	必修・選択	必修
対象学科	全学科		総授業時間	51 時間
			対象コース	全コース

授業概要	日々変化していく音楽・エンタテインメント分野に対し、実際に音楽・エンタテインメント業界企業で仕
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
2	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
3	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
4	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
5	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
6	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
7	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
8	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
9	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
10	後期開始前イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
11	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
12	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
13	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
14	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
15	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
16	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
17	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出

教科書等	なし
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20%
実務経験教員の	各回によって経歴が異なるが、各回ごとに音楽・エンタテインメント企業の講師である。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務 I		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
対象学年	1	年	必修・選択	必修
対象学科	全学科		総授業時間	80 時間
			対象コース	全コース

授業概要	通年授業展開、且つ社会人常識マナー検定対策、就職対策も含む
------	-------------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、社会人としてのルールの基本指導①、新潟県について
2	社会人としてのルールの基本指導②
3	第1編1章
4	第1編2章
5	第1編3章① 送付状の書き方フィードバック
6	第1編3章②
7	第2編1章
8	第2編2章
9	第2編3章
10	第3編1章①
11	第3編1章②
12	第3編2～5章
13	ジョブカードを使用した進路先確認①
14	ジョブカードを使用した進路先確認②
15	履歴書の書き方復習、送付状作成について復習
16	履歴書の書き方復習、送付状作成について復習
17	第3編2級課題慶事のマナーなど①
18	後期期末試験(課題提出)について説明、進級時特待の案内
19	就活セミナー、生活設計、模擬面接・指導
20	就活セミナー、生活設計、模擬面接・指導

教科書等	社会人常識マナー検定テキスト2・3級
成績評価	課題レポート提出30%、各期末課題(試験)提出25%、検定結果25%、出席率10%、授業態度
実務経験教員の	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務Ⅱ		実務授業の有無	×
担当講師	永島 麻耶 (コーディネーター)	講義実施時期	前期・後期	
対象学年	2	年	必修	
対象学科	全学科		総授業時間	53 時間
		対象コース	全コース	

授業概要 | 就職又はデビューに向けた実務授業。

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	アーティスト志望:【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し～計画。 就職志望: I【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し～計画。
2	アーティスト志望:「目標設定シート」フィードバック。企業研究。目標について個別ヒアリング面談 就職志望:「目標設定シート」フィードバック。企業研究。目標について個別ヒアリング面談
3	アーティスト志望:現状プロフィールシートの更新。確認と再作成 就職志望:履歴書作成(基本的な作成/志望動機/自己PRなど)
4	アーティスト志望:プロフィールシートの提出 就職志望:履歴書作成(基本的な作成/志望動機/自己PRなど)と提出
5	アーティスト志望:プロフィールシートの添削フィードバック 就職志望:履歴書・必要書類の添削フィードバック
6	アーティスト志望:①【活動報告書】の作成と提出 就職志望:①【活動報告書】の作成と提出
7	アーティスト志望:①【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談 就職志望:①【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談
8	アーティスト志望:オーディション対策(自己PRの練習) 就職志望:面接対策(自己PR、志望動機の練習)
9	アーティスト志望:個別面談・フィードバック 就職志望:個別面談・フィードバック
10	アーティスト志望:【目標設定の見直し】目標設定の振り返り～再設定など 就職志望:【目標設定の見直し】目標設定の振り返り～再設定など
11	「コミュニケーション検定」補講・検定
12	アーティスト志望::②【活動報告書】の作成と提出 就職志望:②【活動報告書】の作成と提出
13	アーティスト志望:②【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談 就職志望:②【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談
14	アーティスト志望:現状プロフィールシートの更新。確認と再作成 就職志望:②面接対策(自己PR、志望動機の練習)
15	アーティスト志望:プロフィールシートの提出 就職志望:未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー(内定者)
16	アーティスト志望::③【活動報告書】の作成と提出 就職志望:③【活動報告書】の作成と提出
17	アーティスト志望:③【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談 就職志望:③【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談
18	アーティスト志望:プロフィールシートの提出 就職志望:未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー(内定者)

教科書等	なし
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30%
実務経験教員の	なし

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	著作権		実務授業の有無	×
担当講師	梅川 洸平		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	19 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽・エンタテインメント業界で活躍するための著作権の知識の吸収と、著作権検定BASICの合格
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、DVD視聴&解説
2	X章・I章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
3	II章・III章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
4	IV章・V章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
5	VI章・VII章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
6	VIII章・IX章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
7	模擬問題①②の実施及び解説
8	模擬問題③④の実施及び解説
9	模擬問題⑤の実施及び解説、特別講師による講義・レポート提出

教科書等	テキスト及びDVD(著作権情報センター借用)
成績評価	模擬問題35%、検定結果35%、出席率20%、授業態度10%
実務経験教員の	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	PC実習		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
対象学年	1	年	必修・選択	必修
対象学科	全学科		総授業時間	54 時間
			対象コース	全コース

授業概要	社会で使用且つ必要されているWord、Excelソフトを使いこなせる能力をテキストや問題集をこな
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	Word対策動機付け
2	テキストを使用して重点項目を実施
3	模擬試験①～③
4	模擬試験④～⑥
5	模擬試験⑦、サンプル問題
6	Excel対策動機付け
7	テキストを使用して重点項目を実施
8	模擬試験①～③
9	模擬試験④～⑥
10	模擬試験⑦、サンプル問題

教科書等	テキスト・問題集 (Word・Excel共に)
成績評価	検定結果70%、授業態度10%、出席率20%
実務経験教員の	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	選択授業		実務授業の有無	×
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期 必修・選択	前期・後期 必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	36 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	本校では自身の専攻学科以外の科目を学べるよう「選択授業」を設定している。
------	--------------------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
2	各科目による
3	各科目による
4	各科目による
5	各科目による
6	各科目による
7	各科目による
8	各科目による
9	前期評価 各科目による
10	後期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
11	各科目による
12	各科目による
13	各科目による
14	各科目による
15	各科目による
16	各科目による
17	各科目による
18	後期評価 各科目による

教科書等	※各科目による
成績評価	※各科目によって異なる
実務経験教員の	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	異文化研究		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	後期
対象学年	1・2	年	必修・選択	必修
対象学科	全学科		総授業時間	20 時間
			対象コース	全コース

授業概要	音楽やエンタメを仕事にしていくにあたり、広い視野を持つことが非常に重要である。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション チーム分け 研究国決定
2	研究① PP作成
3	研究② PP作成
4	研究③ PP作成
5	各チーム研究成果発表・自己評価・他己評価

教科書等	なし
成績評価	成果発表内容60%、取り組み姿勢20%、出席率20%
実務経験教員の	

SHOW！ 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	141 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。
------	--------------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
13	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
14	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
15	フィードバック・反省会
16	
17	

教科書等	なし
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20%
実務経験教員の	各企業・団体と連携した運営体制となっている。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	後期
対象学年	1	年	必修・選択	必修
対象学科	全学科		総授業時間	283 時間
			対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。
------	-----------------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20%
実務経験教員の	各企業・団体と連携した運営体制となっている。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	126 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。
------	--------------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
13	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
14	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
15	フィードバック・反省会
16	
17	

教科書等	なし
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20%
実務経験教員の	各企業・団体と連携した運営体制となっている。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期 必修・選択	後期 必修
対象学年	2	年	総授業時間	288 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。
------	-----------------------------------

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20%
実務経験教員の	各企業・団体と連携した運営体制となっている。

SHOW! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ヴォイストレーニング		実務授業の有無	○
担当講師	延沢沙美	講義実施時期	前期	
対象学年	1	年	必修・選択	必修
対象学科	ヴォーカル科	対象コース	18	時間
			ヴォーカル科全コース	

授業概要
 発声や歌唱に関する知識の構築と、基礎としての土台作りを通して、声に対する興味と関心を深くする。
 ストレッチや筋力トレーニングを通じた体作り、発声練習を通じた呼吸機能・発声機能・ヴォーカルテクニック向上、発声の仕組みや呼吸に関する知識向上など、ヴォーカリストとしての知識力・基礎力の構築。
 また、声の種類やそれぞれの課題に合わせた課題曲の歌唱を通して、自分自身の声と向き合うとともに、様々な音楽ジャンルや歴史にも興味を持たせる。

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	<ul style="list-style-type: none"> ○出席(自己紹介させる一名前・高校名・好きなアーティストやジャンル・目標・授業で身に付けたいこと) ○講師紹介(名前・高校名・お仕事についてなど) ○授業への心構え(挨拶に重要性・授業の進め方・授業への姿勢) ○ヴォイストレーニングの必要性 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○効果的なストレッチ方法 ○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋) ○姿勢作り ○発声の仕組み・腹式呼吸と胸式呼吸の違い ○プレストレッチ ○現段階での声質・音量・歌唱力チェック(次回の授業に行うことを伝える)
2	<ul style="list-style-type: none"> ○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCTトレーニング ○ストレッチ ○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋) ○プレストレッチ ○リップロール <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○現段階での声質・音量・歌唱力チェック 1人ずつ・1コーラスのみ →それぞれの声質や課題点などアドバイス
3	<ul style="list-style-type: none"> ○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCTトレーニング ○ストレッチ ○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋) ○プレストレッチ 復習 ○リップロール <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○発声の仕組み・共鳴腔説明(咽頭腔・胸腔:「お」、口腔:「あ」、鼻腔:「んが」) ○共鳴腔 ハミングロングトーン ○共鳴腔 ハミング音階発声 ○共鳴腔から発声へ ハミングロングトーン
4	<ul style="list-style-type: none"> ○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCTトレーニング ○ストレッチ ○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋) ○共鳴腔 ハミングロングトーン ○共鳴腔 ハミング音階発声 ○共鳴腔から発声へ ハミングロングトーン <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ロングトーン ○音階「ま」 ○発声から発音へ「まめみもむまめみ」→「ら行」「は行」「な行」「さ行」「ば行」「んが行」応用
5	<ul style="list-style-type: none"> ○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCTトレーニング ○ストレッチ ○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋) ○共鳴腔 ハミング音階発声 ○共鳴腔から発声へ ハミングロングトーン ○ロングトーン ○音階「ま」 ○発声から発音へ「まめみもむまめみ」→「ら行」「は行」「な行」「さ行」「ば行」「んが行」応用 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○5度音程 ○オクターブ音程
6	<ul style="list-style-type: none"> ○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCTトレーニング ○ストレッチ ○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋) ○共鳴腔 ハミング音階発声 ○ロングトーン ○音階「ま」 ○5度音程 ○横隔膜トレーニング(ドッグプレス) ○スタックカート <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○ファルセット 声帯の形態や声の種類説明「ほ」で実践
7	<ul style="list-style-type: none"> ○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCTトレーニング ○ストレッチ ○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋) ○共鳴腔 ハミング音階発声 ○ロングトーン ○音階 ○スタックカート ○ファルセット <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○課題曲 テーマ:ファルセット 1コーラスのみ 全員で歌う→1人ずつ歌う ○次回課題曲発表 テーマ:自分で選曲するファルセット曲
8	<ul style="list-style-type: none"> ○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCTトレーニング ○ストレッチ ○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋) ○共鳴腔 ハミング音階発声 ○ロングトーン ○音階 ○スタックカート ○ファルセット <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○前期課題発表 発声練習(音源)に合わせて ロングトーン・音階・スタックカート →音源配布
9	<ul style="list-style-type: none"> ○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCTトレーニング ○ストレッチ ○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋) ○共鳴腔 ハミング音階発声 ○ロングトーン(音源) ○音階(音源) ○スタックカート(音源) ○ファルセット <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ○課題曲 1人1人に課題曲 Full cho

教科書等	<ul style="list-style-type: none"> ・講師制作テキスト ・課題曲の楽譜・音源・歌詞カード
成績評価	課題の成果40%、授業態度および学習意欲50%、テスト10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ヴォーカルインストラクター・イベントシンガー・チャペルシンガーとして10年音楽業界に従事

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ヴォイストレーニング		実務授業の有無	○
担当講師	延沢汐美		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	18 時間
対象学科	ヴォーカル科		対象コース	ヴォーカル科全コース

授業概要	<p>ストレッチや筋カトレーニングを通した体作り、発声練習を通した呼吸機能・発声機能・ヴォーカルテクニック向上、発声の仕組みや呼吸に関する知識向上など、ヴォーカリストとしての知識力・基礎力の構築。</p> <p>前期に行ったことがどれくらいに身に付いているか、また、個人的に練習をしているかを見極め、それぞれに必要なトレーニングアドバイス、個性の構築を行う。</p> <p>課題曲を「覚える→歌う」のスピード感を上げることでの耳のトレーニング、様々な音楽ジャンルへの興味を引き出していく</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	<ul style="list-style-type: none"> ○授業への心構え(挨拶に重要性・授業の進め方・授業への姿勢) ○ストレッチ ○筋カトレーニング(腹筋・背筋) ○体幹トレーニング ○プレストレッチ ○リップロール ○発声練習(ハミング・ロングトーン・音階・5度音程・ファルセット・スタッカート) ○課題曲 テーマ: 裏声の種類(ファルセットとヘッドボイス)
2	<ul style="list-style-type: none"> ○授業への心構え(挨拶に重要性・授業の進め方・授業への姿勢) ○ストレッチ ○筋カトレーニング(腹筋・背筋) ○リップロール ○発声練習(ハミング・ロングトーン・音階・5度音程・ファルセット・スタッカート) ○課題曲 テーマ: 裏声の種類(ファルセットとヘッドボイス)
3	<ul style="list-style-type: none"> ○授業への心構え(挨拶に重要性・授業の進め方・授業への姿勢) ○ストレッチ ○筋カトレーニング(腹筋・背筋) ○リップロール ○発声練習(ハミング・ロングトーン・音階・5度音程・ファルセット・スタッカート) ○課題曲 テーマ: 裏声の種類(ファルセットとヘッドボイス)
4	<ul style="list-style-type: none"> ○授業への心構え(挨拶に重要性・授業の進め方・授業への姿勢) ○ストレッチ ○筋カトレーニング(腹筋・背筋) ○リップロール ○発声練習(ハミング・ロングトーン・音階・5度音程・ファルセット・スタッカート) ○課題曲 テーマ: 急な高音への対応
5	<ul style="list-style-type: none"> ○授業への心構え(挨拶に重要性・授業の進め方・授業への姿勢) ○ストレッチ ○筋カトレーニング(腹筋・背筋) ○リップロール ○発声練習(ハミング・ロングトーン・音階・5度音程・ファルセット・スタッカート) ○課題曲 テーマ: 急な高音への対応
6	<ul style="list-style-type: none"> ○ストレッチ ○発声練習(ハミング・ロングトーン) ○後期評価曲発表 選曲理由、課題点など交えて一人ずつに
7	○後期評価曲 1コーラスのみチェック
8	○後期評価曲 フルコーラスチェック
9	○後期評価曲 テスト

教科書等	<ul style="list-style-type: none"> ・講師制作テキスト ・課題曲の楽譜・音源・歌詞カード
成績評価	<p>課題の成果40%、授業態度および学習意欲50%、テスト10%</p> <p>成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	ヴォーカルインストラクター・イベントシンガー・チャペルシンガーとして10年音楽業界に従事

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ヴォイストレーニング		実務授業の有無	○
担当講師	延沢沙美		講義実施時期	前期
対象学年	2	年	必修・選択	必修
対象学科	ヴォーカル科		総授業時間	18 時間
			対象コース	ヴォーカル科全コース

授業概要	発声や歌唱に関する知識の構築と、基礎としての土台作りを通して、声に対しての興味と関心を深くする。また、1年次から行っている他ジャンルへの知識と興味も深く、自身のオリジナル楽曲制作へのアイデアやヒントとさせ、制作意欲を上げていく。また、様々な現場を想定して、必要なスキルの構築も行う。 ストレッチや筋力トレーニングを通した体作り、発声練習を通した呼吸機能・発声機能・ヴォーカルテクニック向上、発声の仕組みや呼吸に関する知識向上など、ヴォーカリストとしての知識力・基礎力の構築
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	<p>○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCTトレーニング</p> <p>○ストレッチ</p> <p>○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋)</p> <p>○姿勢作り</p> <p>○発声の仕組み・腹式呼吸と胸式呼吸の違い</p> <p>○プレストレッチ</p> <p>○現段階での声質・音量・歌唱力チェック→次回の授業にて行うことを伝える</p> <p>→自分の一番得意な曲を準備</p>
2	<p>○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCTトレーニング</p> <p>○ストレッチ</p> <p>○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋)</p> <p>○プレストレッチ</p> <p>○リップロール</p> <p>○現段階での声質・音量・歌唱力チェック 1人ずつ・1コーラスのみ</p> <p>→それぞれの声質や課題点などアドバイス</p>
3	<p>○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCTトレーニング</p> <p>○ストレッチ</p> <p>○筋力トレーニング(腹斜筋・背筋・体幹トレーニング2種・腹直筋)</p> <p>○横隔膜トレーニング(ドッグプレス テンポ180 30秒)</p> <p>○共鳴腔を感じながら音階発声</p> <p>○ハミング&ロングトーン</p> <p>○ロングトーン(高音・鼻腔・中音・口腔・低音・咽頭腔&胸腔)</p> <p>○言葉(あえいおう アンザツツ説明)</p> <p>○音階(マ行)</p> <p>○音階(長短3度)</p> <p>○課題曲 テーマ: 音域の広い曲 1コーラスのみ</p>
4	<p>○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCTトレーニング</p> <p>○ストレッチ</p> <p>○筋力トレーニング(腹斜筋・背筋・体幹トレーニング2種・腹直筋)</p> <p>○音階・表情筋トレーニング</p> <p>○リップロール(ロングトーン・音階)</p> <p>○ハミング&ロングトーン</p> <p>○裏声(ファルセット)「ホホホホホ」</p> <p>○裏声から地声移行</p> <p>○課題曲 1人ずつ歌唱 1コーラスのみ</p>
5	<p>○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCTトレーニング</p> <p>○ストレッチ</p> <p>○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋)</p> <p>○共鳴腔 ハミング音階発声</p> <p>○共鳴から発声へ ハミングロングトーン</p> <p>○ロングトーン</p> <p>○音階「ま」</p> <p>○発声から発声へ「まめみもむもめみ」→「ら行」・「は行」・「な行」・「さ行」・「ば行」・「んが行」応用</p> <p>○5度音程</p> <p>○オクターブ音程</p> <p>○細かい音程(上昇・下降)</p>
6	<p>○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCTトレーニング</p> <p>○ストレッチ</p> <p>○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋)</p> <p>○共鳴腔 ハミング音階発声</p> <p>○共鳴から発声へ ハミングロングトーン</p> <p>○ロングトーン</p> <p>○音階「ま」</p> <p>○発声から発声へ「まめみもむもめみ」→「ら行」・「は行」・「な行」・「さ行」・「ば行」・「んが行」応用</p> <p>○5度音程</p> <p>○オクターブ音程</p> <p>○細かい音程(上昇・下降)</p>
7	<p>○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCTトレーニング</p> <p>○ストレッチ</p> <p>○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋)</p> <p>○共鳴腔 ハミング音階発声</p> <p>○共鳴から発声へ ハミングロングトーン</p> <p>○ロングトーン</p> <p>○音階「ま」</p> <p>○発声から発声へ「まめみもむもめみ」→「ら行」・「は行」・「な行」・「さ行」・「ば行」・「んが行」応用</p> <p>○スタッカート</p> <p>○課題曲 テーマ: テンポの速い曲「シュガーソングとビターステップ」1コーラスのみ 覚えるポイント説明 曲を覚えていく 自分のキーに合った音を奏弾させる</p>
8	<p>○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCTトレーニング</p> <p>○ストレッチ</p> <p>○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋)</p> <p>○共鳴腔 ハミング音階発声</p> <p>○共鳴から発声へ ハミングロングトーン</p> <p>○ロングトーン</p> <p>○音階「ま」</p> <p>○発声から発声へ「まめみもむもめみ」→「ら行」・「は行」・「な行」・「さ行」・「ば行」・「んが行」応用</p> <p>○スタッカート</p> <p>○課題曲 テーマ: 自分で選曲するテンポの速い曲</p>
9	<p>○出席(自分で名前を言わせる・一言トーク)→MCTトレーニング</p> <p>○ストレッチ</p> <p>○筋力トレーニング(足上げ腹筋・背筋・体幹トレーニング2種・肩周り・首周り・表情筋)</p> <p>○共鳴腔 ハミング音階発声</p> <p>○共鳴から発声へ ハミングロングトーン</p> <p>○ロングトーン</p> <p>○音階「ま」</p> <p>○発声から発声へ「まめみもむもめみ」→「ら行」・「は行」・「な行」・「さ行」・「ば行」・「んが行」応用</p> <p>○スタッカート</p> <p>○課題曲 1人1人に課題曲 Full cho</p>
10	

教科書等	・講師制作テキスト ・課題曲の楽譜・音源・歌詞カード
成績評価	課題の成果40%、授業態度および学習意欲50%、テスト10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ヴォーカルインストラクター・イベントシンガー・チャペルシンガーとして10年音楽業界に従事

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ヴォイストレーニング		実務授業の有無	○
担当講師	延沢汐美		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	18 時間
対象学科	ヴォーカル科		対象コース	ヴォーカル科全コース

授業概要	発声や歌唱に関する知識の構築と、基礎としての土台作りを通して、声に対する興味と関心を深くする。また、1年次から行っている他ジャンルへの知識と興味も深くし、自身のオリジナル楽曲制作へのアイデアやヒントとさせ、制作意欲を上げていく。また、様々な現場を想定して、必要なスキルの構築も行う。 ストレッチや筋力トレーニングを通じた体作り、発声練習を通じた呼吸機能・発声機能・ヴォーカルテクニック向上、発声の仕組みや呼吸に関する知識向上など、ヴォーカリストとしての知識力・基本力の構築
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	○授業への心構え(挨拶に重要性・授業の進め方・授業への姿勢) 再度動機付け ○ストレッチ ○筋力トレーニング(腹筋・背筋) ○体幹トレーニング ○プレストレーニング ○発声練習(ハミング・ハミングロングトーン・ロングトーン・5度音程・オクターブ・スタッカート) ○課題曲 テーマ:英語の発音・洋楽のグルーブ感
2	○ストレッチ ○筋力トレーニング(腹筋・背筋) ○体幹トレーニング ○プレストレーニング ○発声練習(ハミング・ハミングロングトーン・ロングトーン・5度音程・オクターブ・スタッカート) ○課題曲 テーマ:英語の発音・洋楽のグルーブ感
3	○ストレッチ ○筋力トレーニング(腹筋・背筋) ○体幹トレーニング ○プレストレーニング ○発声練習(ハミング・ハミングロングトーン・ロングトーン・5度音程・オクターブ・スタッカート) ○課題曲 テーマ:英語の発音・洋楽のグルーブ感
4	○ストレッチ ○筋力トレーニング(腹筋・背筋) ○体幹トレーニング ○プレストレーニング ○発声練習(ハミング・ハミングロングトーン・ロングトーン・5度音程・オクターブ・スタッカート) ○課題曲 テーマ:英語の発音・洋楽のグルーブ感 1コーラスのみ Keyを変えて一人ずつ ○課題曲 テーマ:急な高音への対応
5	○授業への心構え(挨拶に重要性・授業の進め方・授業への姿勢) 再度動機付け ○ストレッチ ○筋力トレーニング(腹筋・背筋) ○体幹トレーニング ○プレストレーニング ○発声練習(ハミング・ハミングロングトーン・ロングトーン・5度音程・オクターブ・スタッカート) ○課題曲 テーマ:急な高音への対応 ○課題曲 テーマ:1音1音への集中・Pitch
6	○ストレッチ ○筋力トレーニング(腹筋・背筋) ○プレストレーニング ○リップロール ○発声練習(ハミング・ロングトーン) ○後期評価曲発表 選曲理由、課題点など交えて一人ずつに
7	○後期評価曲 1コーラスのみチェック
8	○後期評価曲 フルコーラスチェック
9	○後期評価曲 テスト

教科書等	・講師制作テキスト ・課題曲の楽譜・音源・歌詞カード
成績評価	課題の成果40%、授業態度および学習意欲50%、テスト10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ヴォーカルインストラクター・イベントシンガー・チャペルシンガーとして10年音楽業界に従事

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	作詞実習		実務授業の有無	○
担当講師	富田 一輝		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	19
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	時間

授業概要	<p>作詞に関し、DAWソフトを使用しつつ基礎的な技法を学ぶ。 ①既存曲から希望楽曲の選定②作詞③ブラッシュアップ④仮歌の録音 上記を基本的な流れとし、最終的にはタイアップ等を想定した作詞にも挑戦することで、作詞の技術だけでなく、エンタテインメントに関し多角的な視点を持てるようになることを目標とする。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期イントロダクション(動機付け等)
2	CMソングについて 短い時間で印象に残すための技法について解説。
3	CMソングについて 課題曲を実際に制作しつつ、DAWの操作方法を解説。
4	個人課題① 作詞を行う課題曲を2曲選定。
5	個人課題① テーマを決定次第制作開始。
6	個人課題① 制作物のブラッシュアップ。
7	個人課題② 2曲目の制作開始。
8	個人課題② 制作物のブラッシュアップ。
9	期末考査(制作物の発表)
10	前期イントロダクション(動機付け等)
11	CMソングについて 短い時間で印象に残すための技法について解説。
12	CMソングについて 課題曲を実際に制作しつつ、DAWの操作方法を解説。
13	個人課題① 作詞を行う課題曲を2曲選定。
14	個人課題① テーマを決定次第制作開始。
15	個人課題① 制作物のブラッシュアップ。
16	個人課題② 2曲目の制作開始。
17	個人課題② 制作物のブラッシュアップ。
18	個人課題② 制作物のブラッシュアップ。
19	期末考査(制作物の発表)

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	音楽制作会社SUPA LOVE所属 アニメ「理系が恋をしたので証明してみた」JOP主題歌 作編曲 アニメ「キラッとプリちゃん」EDテーマ 作編曲、アニメ「SHOW BY ROCK!!ましゅまいれっしゅ!!」挿入歌 作詞、作編曲 他、メジャーアーティストやアニメソングを中心に多数楽曲提供を行う。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	音楽理論		実務授業の有無	×
担当講師	浅間 千央		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	18 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	全コース

授業概要	音楽理論の基礎からコード理論・コードスケールの基本と相互関係を総合的に学びます。到達目標は、読譜、記譜ができるようになり、音楽理論を活用した作曲やアレンジができるようになる事。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション・音楽理論とは何か。
2	メジャースケールの理解。
3	音符・休符・リズムの理解(基本編)。
4	音符・休符・リズムの理解(リズムトレーニング編)。
5	音符・休符・リズムの理解(符点音符・リズムトレーニング編)。
6	音程(インターバル)の理解(完全音程・長音程・短音程編)。
7	音程(インターバル)の理解(増音程・減音程編)。
8	前期末テスト。
9	前期末テスト解説。
10	和音の理解(三和音編)
11	和音の理解(四和音編)
12	和音の理解(テンションコード編)
13	和音確認テスト・答え合わせ・解説
14	メジャーダイアトニックコードの理解(基本編)
15	メジャーダイアトニックコードの理解(コード進行編)
16	メジャーダイアトニックコードの理解(コード進行編)
17	メジャーダイアトニックコードの理解(コードスケール編)
18	後期末テスト
19	後期末テスト解説

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	コーラスワーク		実務授業の有無	○
担当講師	佐藤 和音/渋谷 聡美		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	ヴォーカル科		対象コース	全コース

授業概要	<p>ヴォーカリストとして大切な「相対音感」を身につけるためのトレーニングを行う。 全員での合唱・アカペラ曲の歌唱、少人数でグループにわかれてのコーラスのある曲の歌唱を通し、相手の音を聞く、相手の音に合わせて通し、1つの音楽を大人数で作り上げることや、人の音に合わせて自分の声を出す意識を高める。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、授業の趣旨・意義・今後のスケジュール等の説明。 発声練習
2	発声練習 合唱曲① パート別音取り・パート練習
3	発声練習 合唱曲① パート練習・合唱
4	発声練習 合唱曲① パート練習・合唱
5	発声練習 合唱曲② パート別音取り・パート練習
6	発声練習 合唱曲② パート練習・合唱
7	発声練習 合唱曲② パート練習・合唱
8	発声練習 合唱曲③ パート別音取り・パート練習
9	発声練習 合唱曲③ パート練習・合唱
10	後期イントロダクション、授業の趣旨・意義・今後のスケジュール等の説明。 発声練習
11	グループコーラス曲① グループ別練習
12	グループコーラス曲① グループ別練習
13	グループコーラス曲① グループ別練習
14	グループコーラス曲① 発表
15	グループコーラス曲② グループ別練習
16	グループコーラス曲② グループ別練習
17	グループコーラス曲② 発表
18	合唱曲④ パート練習
19	合唱曲④ 合唱

教科書等	各課題曲楽譜・音源を配布 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業態度および学習意欲50%、音程の正確さなど技術全般50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	【大野】小学5年(2002年)から、りゅーとぴあ演劇スタジオキッズ・コース「APRICOT」に所属。 その後、高校1年(2008年)からは、りゅーとぴあ能楽堂シリーズに出演。 18歳(2011年)にはNew YorkのBroadway Dance Centerに1年間留学をする。 その後、「Harvest」という劇団を立ち上げ2作品上演。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ヴォーカルレコーディング		実務授業の有無	○
担当講師	ナタリー石田		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	36 時間
対象学科	ヴォーカル科		対象コース	全コース

授業概要	<p>実際のレコーディングを通して、コンデンサーマイクでのヴォーカリング、ヘッドフォン(イヤフォン)を使ってのモニタリングやキューボックスの操作に慣れ、自分にとって歌いやすいセットアップ法を学ぶ 録音した歌に対しディレクションを行い、より洗練されたデモを仕上げていく 声の特性や表現の細部まで、新たな発見の場となる</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション、選曲のポイント説明、目的を明確にし、目標を立てる
2	ナタリー石田のソロアルバム制作時の音源などをベースにレコーディングの過程などを学ぶ。
3	レコーディング
4	レコーディング、学生がディレクション
5	レコーディング、学生がディレクション
6	レコーディング、学生がディレクション
7	レコーディング、学生がディレクション
8	レコーディング、学生がディレクション
9	レコーディング、学生がディレクション
10	レコーディング、学生がディレクション
11	レコーディング、学生がディレクション
12	レコーディング、学生がディレクション
13	レコーディング、学生がディレクション
14	レコーディング、学生がディレクション
15	レコーディング、学生がディレクション
16	レコーディング、学生がディレクション
17	レコーディング、学生がディレクション
18	レコーディング、学生がディレクション
19	作品視聴会

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業態度および学習意欲70%、デモ音源評価30%
実務経験教員の経歴	マンダムズのボーカリストとして20年、また、ジャズ、ポップスシンガーとして活動。チャペルソリストとして19年、他、数々のステージで活動中。県内のCMソング歌唱やテレビ・ラジオなどでナレーターとしても活躍。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	作曲REC実習		実務授業の有無	×
担当講師	小川拓・桑原陽樹		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	ヴォーカル科		対象コース	

授業概要	昨今のヴォーカリストに求められる作曲能力・メロディ制作能力を培うとともに、完成した作品を自分で録音・MIXができるようになるための授業
------	---

回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	導入・前期授業内容説明／1年次作曲実習の振り返り、各自のオリジナル楽曲の現状把握
2	楽曲制作課題① 既存コード進行に合わせたメロディ作り
3	楽曲制作課題① 既存コード進行に合わせたメロディ作り・発表
4	楽曲制作課題② 複数のコード進行より選択しメロディ作り
5	楽曲制作課題② 複数のコード進行より選択しメロディ作り
6	オリジナル楽曲制作／簡易宅録実習①
7	オリジナル楽曲制作／簡易宅録実習②
8	オリジナル楽曲制作／簡易宅録実習③
9	前期まとめ、発表
10	導入・後期授業内容説明／前期の振り返り、各自のオリジナル楽曲の現状把握
11	楽曲制作課題③ コード進行も含めた楽曲制作
12	楽曲制作課題③ コード進行も含めた楽曲制作
13	楽曲制作課題③ コード進行も含めた楽曲制作
14	楽曲制作課題③ コード進行も含めた楽曲制作
15	オリジナル楽曲制作／簡易宅録実習④
16	オリジナル楽曲制作／簡易宅録実習⑤
17	オリジナル楽曲制作／簡易宅録実習⑥
18	後期まとめ、発表
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	出席率50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ヴォーカル実技Ⅰ		実務授業の有無	○
担当講師	ナタリー石田		講義実施時期	前期・後期
対象学年	1	年	必修・選択	必修
対象学科	音楽アーティスト科		総授業時間	17 時間
			対象コース	全コース

授業概要	ヴォーカリスト入門として、初めて歌に向き合う上での必要なスキルや技術的な部分はもちろん、そのうえで人前で歌う「心構え」や独りよがりではなく聴く人の気持ちを優先した選曲やパフォーマンス。さらに自分では「気づけない」自分の持つ声の魅力および欠点を講師の立場からアドバイスできたら、と思います。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	【ソルフェージュと合同授業】簡単な自己紹介。先生からの質問に答えてもらう。まずは緊張を解し、歌手への第一歩としての学生生活の過ごし方などの他、今後の方向性や目指すべきものを導き出す。
2	【自己分析】詳しく自己紹介。影響を受けた歌手、自分の声質や声量、キャラクターなどを分析する。自分が影響を受けたヴォーカリストのどこに影響を受けたのか、また、自分がどのようなヴォーカリストを目指すべきなのかを導き出していく。その後、ヴォーカリストとしての基本的な心構えなどを論じていきます。
3	【歌の披露】現時点で自分が1番自信のある楽曲を披露してもらう。そのうえで、なぜその曲なのか、なぜその曲に魅力を感じるのか？その曲が伝えたいことは？など、「ただ好きで歌っていた」だけではなく、歌の意味、そして「歌う意味」を考える。
4	【テーマ：世界の様々な音楽を知る】若い学生が聴いたことのない様々なジャンルの音楽を聞いてもらう。それを聴いてどう感じたかを全員でクロストークし、【歌の世界】をより深く感じてもらう。
5	【テーマ：アップテンポの曲】それぞれの長所・短所を自分で見極める為の、まずは「アップテンポの曲」を歌唱してもらう。楽曲のセレクトはそれぞれで選曲。
6	【テーマ：バラード曲】それぞれの長所・短所を自分で見極める為の、次は「バラード曲」を歌唱してもらう。楽曲のセレクトはそれぞれで選曲。
7	【テーマ：自分に本当に合う楽曲1】ここまでやってきて、好き嫌いを別にしてそれぞれに自分の声質、特徴などを考え、自分に合う曲を一曲披露してもらう。それを前期の最終課題曲とするので、今回歌唱後に講師よりアドバイスを出し、次回弱点を直した上でもう一度披露してもらう。
8	【テーマ：自分に本当に合う楽曲2】前週にやった曲を修正・補正して披露してもらう。それを前期の最終課題曲とするので、今回歌唱後に講師よりアドバイスを出し、次回弱点を直した上でもう最終披露してもらう。
9	【前期最終課題】前回披露して、修正を加えた「自分に合う曲」を完全な形で一曲披露してもらう。歌詞は見えないステージングも意識して、あくまでお客様の目の前で歌ってる事を考え、プロへの第一歩としての歌を全力で。
10	【休み中のエピソード～歌唱】この休眼中に音楽に対する想いの変化や、スキルアップのためになにかやっていたか、などを確認する。その後歌の披露で【どう進化したか、或いは退化したか】を評価する。
11	【テーマ：真逆の曲】自分のキャラや正確、声質などをそろそろ理解しているこの時期に、敢えて全く真逆の曲を披露して下さい。新しい発見や、レパートリーが増える可能性があります。
12	【テーマ：洋楽】現代の若い子は洋楽に触れる機会が少ないと思われます。そこで洋楽のデュエット曲に挑戦。ハーモニーの大切さ、他の音を聴く重要性。そして、英語曲ならではの発声や発音などにも言及します。
13	【テーマ：洋楽2】前回初めて聴いたであろう洋楽曲を練習してきてもらい、練習の成果を披露。ハーモニーの大切さ、他の音を聴く重要性。そして、英語曲ならではの発声や発音などにも言及します。次回の授業で完成形を披露。
14	【テーマ：洋楽3】課題洋楽曲の完成形を披露。フェイクやシャウトの付け方などもレクチャーしつつ、より本物に近いカタチで歌えるコツを伝授。
15	【テーマ：幅広い年代層に向けて】不特定多数のお客さんが集まる街なかのフリーライブ出演と仮定して選曲して下さい。独りよがりの選曲でなく、幅広い年代層の人が笑顔になったり涙するような選曲を。この日に最終課題曲配布。
16	【テーマ：90～80年代の曲】90～80年代といってもすでに学生にとってはまだ生まれてもいない年代。この時代の曲を選曲し、歌唱してもらいます。この日に次回授業課題を配布します。
17	【ステージング】自分のコンサートを企画、ディレクションします。30分のステージと仮定し、オープニングの曲、もしくはエンディングの曲を披露。なぜその曲なのかも解説してもらいます。この日に最終課題曲を渡します。
18	【テーマ：課題曲の進展状況を確認】最終課題曲を現時点でどこまで歌えるか練習として披露。歌いこなせていない部分などを細かくチェックします。
18	【評価課題曲】二週前に渡しておいた課題曲を披露してもらいます。歌い込み、完成度を評価します。

教科書等	特になし。 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業での歌唱評価、及び上達度80%、授業態度および学習意欲20%
実務経験教員の経歴	マンダムズのボーカリストとして20年、また、ジャズ、ポップスシンガーとして活動。チャペルソリストとして19年、他、数々のステージで活動中。県内のCMソング歌唱やテレビ・ラジオなどでナレーターとしても活躍。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ヴォーカル実技Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	ナタリー石田		講義実施時期	前期・後期
対象学年	2	年	必修・選択	必修
対象学科	音楽アーティスト科		総授業時間	34 時間
			対象コース	全コース

授業概要	ヴォーカリスト入門として、初めて歌に向き合う上での必要なスキルや技術的な部分はもちろん、そのうえで人前で歌う「心構え」や、独りよがりではなく聴く人の気持ちを優先した選曲やパフォーマンス。さらに自分では「気づけない」自分の持つ声の魅力および欠点を講師の立場からアドバイスできたら、と思います。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	【二年目の自己紹介】一年間歌手の扉を開け、経験してきました。二年目の自己紹介してもらい、その際に自分が影響を受けた曲や二年目の自分をもう一度確認し、最後に今後の方向性や目指すべきものを導き出す
2	【歌の披露】現時点で自分が一番自信のある楽曲を披露してもらう。そのうえで、なぜその曲なのか、なぜその曲に魅力を感じるのか？その曲が伝えたいことは？など、「ただ好きで歌っていた」だけではなく、歌の意味、そして「歌う意味」を考える。
3	【歌の披露】現時点で自分が一番自信のある楽曲を披露してもらう。そのうえで、なぜその曲なのか、なぜその曲に魅力を感じるのか？その曲が伝えたいことは？など、「ただ好きで歌っていた」だけではなく、歌の意味、そして「歌う意味」を考える。
4	【テーマ：世界の様々な音楽を知る】若い学生が聴いたことのない様々なジャンルの音楽を聞いてもらう。それを聴いてどう感じたかを全員でクロストークし、【歌の世界】をより深く感じてもらう。
5	【テーマ：アップテンポの曲】それぞれの長所・短所を自分で見極める為の、まずは「アップテンポの曲」を歌唱してもらおう。楽曲のセレクトはそれぞれで選曲。
6	【テーマ：バラード曲】それぞれの長所・短所を自分で見極める為の、次は「バラード曲」を歌唱してもらおう。楽曲のセレクトはそれぞれで選曲。
7	【テーマ：自分に本当に合う楽曲1】ここまでやってきて、好き嫌いを別にしてそれぞれに自分の声質、特徴などを考え、自分に合う曲を一曲披露してもらう。それを前期の最終課題曲とするので、今回歌唱後に講師よりアドバイスを出し、次回弱点を直した上でもう一度披露してもらう。
8	【テーマ：自分に本当に合う楽曲2】前週にやった曲を修正・補正して披露してもらう。それを前期の最終課題曲とするので、今回歌唱後に講師よりアドバイスを出し、次回弱点を直した上でもう一度最終披露してもらう。
9	【前期最終課題】前回披露して、修正を加えた「自分に合う曲」を完全な形で一曲披露してもらう。歌詞は見えないステージングも意識して、あくまでお客様の目の前で歌ってる事を考え、プロへの第一歩としての歌を全力で。
10	【休み中のエピソード～歌唱】この休眼中に音楽に対する想いの変化や、スキルアップのためになにかやっていたか、などを確認する。その後歌の披露で【どう進化したか、或いは退化したか】を評価する。
11	【テーマ：真逆の曲】自分のキャラや正確、声質などをそれぞれ理解しているこの時期に、敢えて全く真逆の曲を披露して下さい。新しい発見や、レパートリーが増える可能性があります。
12	【テーマ：洋楽】洋楽曲(POPS、ジャズ)に挑戦。英語曲ならではの発声や発音などにも言及します。
13	【テーマ：洋楽2】前回初めて聴いたであろう洋楽曲を練習してきてもらい、練習の成果を披露。英語曲ならではの発声や発音を中心に指導。今回の授業で完成形を披露。
14	【テーマ：洋楽3】課題洋楽曲の完成形を披露。フェイクやシャウトの付け方などもレクチャーしつつ、より本物に近いカタチで歌えるコツを伝授。
15	【テーマ：幅広い年代層に向けて】不特定多数のお客さんが集まる街なかのフリーライブ出演と仮定して選曲して下さい。独りよがりの選曲でなく、幅広い年代層の人が笑顔になったり涙するような選曲を。この日に最終課題曲配布。
16	【テーマ：歌謡曲】みなさんが生まれる前の歌謡曲。この時代ならではの曲を選曲し、歌い方、表情の付け方、世界観を意識しながら、歌謡歌手になりきって歌唱してもらいます。
17	【テーマ：シチュエーション】こんな場、こんな客層にはどんな選曲をすれば良いのか…そういうことを考え、ディレクションしてもらう。この日に最終課題曲を渡します。
18	【テーマ：課題曲の進展状況を確認】最終課題曲を現時点でどこまで歌えるか練習として披露。歌いこなせていない部分などを細かくチェックします。
18	【評価課題曲】二週前に渡しておいた課題曲を披露してもらいます。歌い込み、完成度を評価します。

教科書等	特になし。 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業での歌唱評価、及び上達率80%、授業態度および学習意欲20%
実務経験教員の経歴	マンダムズのボーカリストとして20年、また、ジャズ、ポップスシンガーとして活動。チャペルソリストとして19年、他、数々のステージで活動中。県内のCMソング歌唱やテレビ・ラジオなどでナレーターとしても活躍。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ソルフェージュ		実務授業の有無	○
担当講師	野瀬珠美		講義実施時期	前期・後期
対象学年	1	年	必修・選択	必修
対象学科	音楽アーティスト科		総授業時間	17 時間
			対象コース	全コース

授業概要	譜面に記してある様々な要素(旋律、リズム、ハーモニー等)を正確に読み取り、正確に表現する。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	2拍子及び4拍子、四分音符と二分音符、順次進行による旋律を正確に歌えるようにする。また八分音符を含むリズム打ちも並行して練習する。
2	3拍子、四分音符と二分音符さらにそれらに対応する休符、順次進行による旋律を正確に歌えるようにする。また八分音符を含むリズム打ちの練習をする。
3	三度音程を含む旋律を正確に歌えるようにする。また八分音符までの音価と四分休符を含むリズム打ちの練習も行う。
4	三度音程を含むさらに複雑な旋律を正確に歌えるようにする。また四分音符、順次進行の調音(書き取り)をする。
5	付点二分音符を含む旋律を正確に歌えるようにする。また八分音符までの音価と八分休符を含むリズム打ちを練習する。
6	タイを含む旋律を正確に歌えるようにする。また四分音符、八分音符、順次進行による 調音を行う。
7	四度音程を含む旋律を正確に歌えるようにする。また八分音符と八分休符を含むさらに複雑なリズム打ちを練習する。
8	四度音程を含む音程をもっと正確に歌えるようにする。またシンコペーションなどを含むリズム打ちの練習をする。
9	これまでに学んだコーリュブングンの実技テスト。またリズム打ち、調音のテストを行う。
10	2度3度音程を含む旋律を歌えるようにする
11	付点四分音符とタイを含んだ旋律を歌えるようにする。また同レベルのリズム打ちをする。
12	4度音程を含む旋律を歌えるようにする。
13	付点四分音符とタイを含んだ旋律を歌えるようにする。また同レベルのリズム打ちをする。
14	5度音程を含む旋律を歌えるようにする。
15	ト長調、ヘ長調とその平行調(ホ短調、ニ短調)の旋律を歌う練習。
16	ト長調、ヘ長調とその平行調(ホ短調、ニ短調)の旋律で臨時記号を伴った旋律を歌う練習。
17	9週までに学んだコーリュブングン、その他の曲を歌う実技テスト。またリズム打ちのテストも行う。

教科書等	コーリュブングン・リズムの基礎・視唱ステップアップ 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	2010年より国際音楽エンタテインメント専門学校、2005年より新潟県立新潟中央高等学校非常勤講師(ソルフェージュ・音楽理論)

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ライブパフォーマンス実習		実務授業の有無	○
担当講師	えのもと くみこ		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	全コース

授業概要	<p>ライブやイベント出演の際に必要な基礎知識(サウンドチェック、パフォーマンス準備)や技術(演奏力、魅せ方)などを学び、自身のパフォーマンス力向上を図る。 それぞれのパフォーマンスに対してのフィードバックを行い、意見交換をし合う。 実際に自主企画ライブを開催することを想定し、企画の組み立て方、スタッフとのやり取り、運営の仕方なども併せて学ぶ。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション(自己紹介・前期の授業概要説明・ライブ映像鑑賞・ライブハウスの環境を知る)
2	実際にステージに立ち、リハーサルから本番の流れを体感・曲決め。(課題曲?)
3	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
4	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
5	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
6	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック(新課題曲)
7	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
8	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
9	発表会のゲネリハーサル・フィードバック(企画・構成最終確認、サウンドチェック、仕上がりチェック)
10	発表会
11	イントロダクション(後期の授業概要説明)・合同演習の曲をチェック。
12	グランドコンサートに向けてパフォーマンスをチェック。フィードバック。
13	グランドコンサートに向けてパフォーマンスをチェック。フィードバック。
14	グランドコンサートに向けてパフォーマンスをチェック。最終確認・発表。
15	グランドコンサートに向けてパフォーマンスをチェック。フィードバック。
16	グランドコンサートに向けてパフォーマンスをチェック。フィードバック。
17	グランドコンサートに向けてパフォーマンスをチェック。最終確認・発表。

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ヴォイストレーナー・歌唱指導歴15年。NegiccoやNGT48など数々のアイドルグループやアーティストを指導、ジャズヴォーカリストの傍らマンダムズでピータンくみことして、ラジオやテレビのメディア出演など幅広く活動する。これまで個人で2枚のアルバム、マンダムズで5枚のアルバムを発表。一流ホテルのディナーショー・大ホールから地元のお祭りまで多数のステージを経験する。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校 授業シラバス

科目名	作曲実習		実務授業の有無	○
担当講師	佐藤 和音		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	全コース

授業概要	ヴォーカリストは歌を歌うだけでなく楽曲制作のノウハウも知っていなければいけない。 また自分を売り出すためにはオリジナル曲があることが不可欠な時代となっている。 ステージ発表、オーディションに向けて、自身で作詞作曲したオリジナル楽曲を作成するため、スコアの知識、コードに対するメロディ付けを学ぶ。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 前期授業概要説明、各自自作曲紹介、曲作りとは
2	調と音階、ダイアトニックコードに対するメロディづけ
3	長調のコードに対するメロディ・歌詞づけ
4	長調のコードに対するメロディ・歌詞づけ・発表
5	短調のコードに対するメロディ・歌詞づけ
6	短調のコードに対するメロディ・歌詞づけ・発表
7	期末作品制作
8	期末作品制作
9	期末作品制作・発表
10	後期授業概要説明
11	さまざまなコード進行・楽曲分析
12	さまざまなコード進行・楽曲分析・好きなコード進行を選びメロディづけ
13	楽曲制作①
14	楽曲制作②
15	楽曲制作③
16	楽曲制作④
17	楽曲制作⑤・発表

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	授業態度50%、課題制作30%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	ピアノ&ヴォーカルユニット「Cacis」のピアニスト・作曲家として新潟県を中心に15年活動中。

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ギター実習	実務授業の有無	○
担当講師	渋谷 聡美	講義実施時期	前期・後期
		必修・選択	必修
対象学年	2 年	総授業時間	34 時間
対象学科	ヴォーカル科	対象コース	

授業概要	弾き語りを通してオリジナリティを追求しパフォーマンスの幅を広げる。オケを使わずライブができるようになる。楽器の楽しさに触れる。前期は演奏強化、後期は作詞強化。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	アコースティックギターの扱い方や名称、演奏に必要な道具の説明。スキルチェック。課題曲提示。
2	課題曲①
3	課題曲①
4	課題曲①チェック・フィードバック 課題曲②提示
5	課題曲②
6	課題曲②
7	課題曲②チェック・フィードバック
8	自由課題
9	自由課題
10	後期初回 作詞をするにあたって、手順や表現方法を学ぶ。
11	テーマを決め、浮かんだキーワードを書き出し、世界観を固める。
12	キーワードをピックアップしストーリーを描く。表現方法や言い換え方を考えながら作る。
13	楽曲制作① メロディー、コードを付ける。
14	楽曲制作② メロディー、コードを付ける。
15	楽曲制作③ メロディー、コードを付ける。
16	楽曲制作④ 発表に向けて衣装やメイクなども考える。
17	発表。

教科書等	ギターコード譜使用
成績評価	課題40%、授業態度および学習意欲60% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	国際音楽・エンタテインメント専門学校ヴォーカル科卒業 県内各地のライブハウス中心に弾き語り活動中

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校 授業シラバス

科目名	ピアノ実習		実務授業の有無	○
担当講師	塩田美月		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ヴォーカルコース

授業概要	<p>ピアノ演奏の基礎となるトレーニングを実施。 楽譜の読み方、運指、リズム、奏法を学び、実践に繋げる。 ピアノソロでもアンサンブルでも活用できる技術を学ぶ。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション(動機付け) スキルチェック、ピアノ基礎トレーニング
2	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 楽譜の読み方を学ぶ、簡単な課題曲提示
3	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 課題曲の練習・チェック
4	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 課題曲の練習・チェック
5	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 課題曲発表→フィードバック、コードの読み方について学ぶ
6	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) コードの種類を学ぶ、課題曲提示
7	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 課題曲の練習・チェック
8	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 課題曲の練習、チェック
9	ピアノ基礎トレーニングのテスト 課題曲発表→フィードバック 前期まとめ
10	イントロダクション(動機付け、後期目標設定) ピアノ基礎トレーニング、自由課題曲選定(ピアノソロ)
11	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 自由課題曲の練習、チェック
12	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 自由課題曲の練習、チェック
13	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 自由課題曲の練習、チェック
14	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 課題曲発表→フィードバック、自由課題曲選定(伴奏)
15	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 自由課題曲の練習、チェック
16	ピアノ基礎トレーニング(ハノン) 自由課題曲の練習、チェック
17	ピアノ基礎トレーニングのテスト 自由課題曲発表→フィードバック 後期まとめ

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	出席率20%、授業態度および学習意欲40%、課題テスト40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	<p>幼少期～現在までYAMAHAにてピアノ(クラシック)を習う。 国際音楽・ダンスエンタテイメント専門学校 ヴォーカル科ヴォーカル&楽器(キーボード)コース卒業。 新潟で活動しているバンド「Chic Sick」にてキーボード&コーラスを担当。 その他様々なアーティストのサポートキーボードとして活動中。</p>

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	音源編集・宅録実習		実務授業の有無	×	
担当講師	小川 拓		講義実施時期	前期・後期	
			必修・選択	必修	
対象学年	1	年	総授業時間	34	時間
対象学科	ヴォーカル科		対象コース		

授業概要	<p>楽曲制作に必要なレコーディングの技術と知識を習得するための講義・実習を行う。 主にデモ音源制作を目的とした自宅等でのレコーディングスタジオを使用しないレコーディングを学ぶ。 学生が楽曲制作時に必要な音を自身で収録・編集し、楽曲のクオリティを向上させることを目標とする。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	授業の概要説明 動機づけ レコーディングの基礎知識
2	DAWでのレコーディングの手順と必要機材について
3	マイクの種類と特性 マイキングとマルチトラックレコーディングについて
4	ヴォーカルレコーディングの手順と実践
5	ヴォーカルレコーディングの手順と実践
6	ヴォーカルデータの編集 コンピングの手順と実践
7	MIDI入力によるレコーディングについて キーボードを使ったMIDIレコーディングの手順と実践
8	キーボードを使ったMIDIレコーディングの手順と実践 MIDIデータの編集について
9	MIDIデータの編集 前期のまとめ
10	ライン入力によるレコーディングについて ギター・ベースのレコーディング
11	ギター・ベースのレコーディング
12	ギター・ベースの編集
13	マイク入力による楽器のレコーディングについて アコースティックギターのレコーディング
14	アコースティックギターのレコーディングと編集
15	打楽器のレコーディング ドラムのマルチトラックレコーディングについて
16	ドラムのマルチトラックレコーディング
17	マルチトラックの編集 サンプリングについて
18	パーカッション等のサンプリング サンプリングデータの編集 後期まとめ

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	出席率20%、課題提出50%、授業態度30%にて評価する。 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ヴォーカルパフォーマンス実習		実務授業の有無	○
担当講師	CHiCO/マクレーン有美		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	全コース

授業概要	<p>ライブやイベント出演の際に必要な基礎知識(サウンドチェック、パフォーマンス準備)や技術(演奏力、魅せ方)などを学び、自身のパフォーマンス力向上を図る。 それぞれのパフォーマンスに対してのフィードバックを行い、意見交換をし合う。 実際に自主企画ライブを開催することを想定し、企画の組み立て方、スタッフとのやり取り、運営の仕方なども併せて学ぶ。</p>
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション(自己紹介・前期の授業概要説明・ライブ映像鑑賞・ライブハウスの環境を知る)
2	実際にステージに立ち、リハーサルから本番の流れを体感
3	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
4	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
5	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
6	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
7	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
8	個々のパフォーマンスをチェックし、フィードバック
9	発表会
10	イントロダクション(後期の授業概要説明・イベントの組み立て方のレクチャー)
11	個々に向けてパフォーマンスディレクション
12	個々に向けてパフォーマンスディレクション
13	個々に向けてパフォーマンスディレクション
14	ライブ練習
15	ライブ練習
12	ライブ練習
13	ライブのリハーサルを行う(企画・構成最終確認、サウンドチェック、仕上がりチェック)
14	
15	※市民プラザにてコンサート本番あり

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ユニバーサルよりメジャーデビュー。多くのメジャーアーティストのトレーニングも行い、ゲーム音楽を始め音楽制作にも携わる。